

ISO (International Organization for Standardization ; 国際標準化機構)

1. ISO とは

ISO (International Organization for Standardization ; 国際標準化機構) は、物質およびサービスの国際交換を容易にし、知的、科学的、技術的および経済的活動分野における国際間の協力を助長するため、世界的な標準化およびその関連活動の発展促進を図ることを目的として、1947 年に設立された全世界的な非政府間機構である。

ISO への参加は、各国ごとに代表的標準化機関 1 機関だけが参加でき、我が国では日本工業規格 (JIS) を調査審議する日本工業標準調査会 (JISC) が 1952 年に加入している。

現在、ISO への参加国は 100 か国に上り、ISO で作成された国際規格 (ISO 規格) は 1995 年末累積で 10 189 件であり、毎年数百 (1995 年には年間 820 件) の規格が制定又は改正されている。

2. ISO の組織

ISO の組織は図 1 の通りで、国際規格等の具体的な検

討は専門委員会で行なわれる (図 1)。

3. ISO 命名の経緯

ISO は国際標準化機構の頭文字ではなく、“相等しい”という意味を表すギリシャ語である “isos” から採られたもので、英語の isonomy (法の下での平等) あるいは isometric (同じくらいの大きさ) などの接頭語である “iso-” の語源でもある。すなわち、“相等しい” “平等” などの概念を通して規格あるいは標準化の推進を考えると同時に、三つの公用語である、英語、フランス語、ロシア語の各々の機関名の頭文字を採った場合の混乱を避けることも念頭にいたといわれている。

4. ISO 9000 シリーズについて

1987 年に、国際的な通商活動の円滑化の観点から、品質管理および品質保証に関連する ISO 9000～9004 の 5 規格 (ISO 9000 シリーズ) が制定された。

このうち ISO 9001～9003 は購入者に信頼感を与えるためのいわゆる「外部品質保証」に関する供給者の品質システムの要求事項が定められており、同規格を基準として、製造企業等を対象とした国際的な品質システム審査登録制度が運営されている。

同規格は、すでに 50 か国以上で国家規格として採用

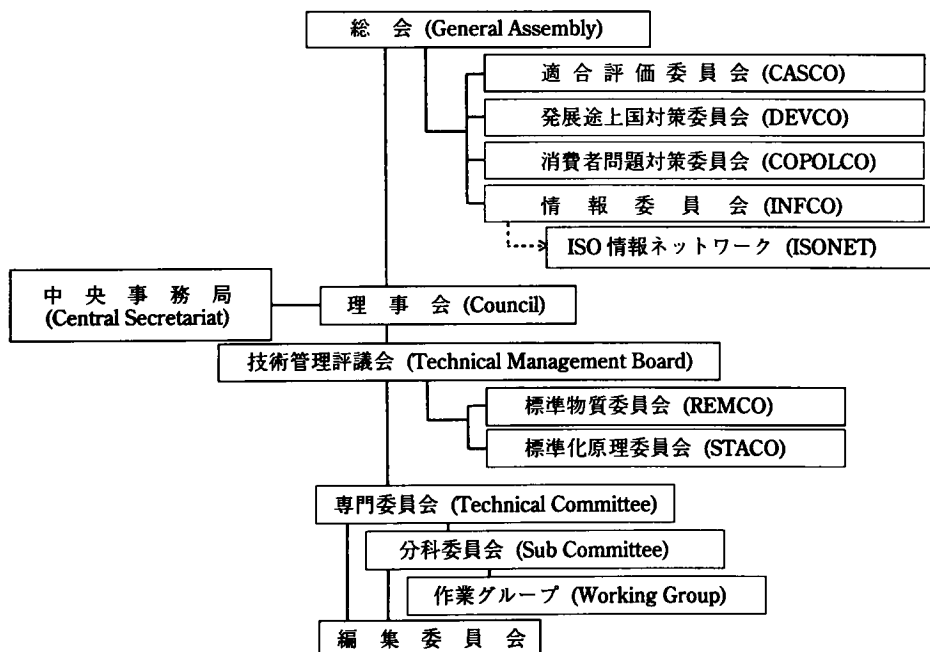


図 1 ISO の組織

技術用語解説

され、我が国でも 1991 年に同シリーズの翻訳規格として JIS Z 9900 シリーズが制定されている。また、審査登録制度に基づいて登録された事業所数は、1996 年 9 月末現在で約 1 800 ヶ所に及ぶ。

5. ISO 14000 シリーズについて

国際的な環境保全の要求が増加するなかで、企業の環境配慮への自主的・積極的な取組みを促進する手段として制定作業が進められているもので、企業での環境マネジメントに関する方針、これを実行するためのシステム構築に関する要求事項、環境監査、環境ラベリング制度等を内容としている。このうち、すでに環境システ

ムや環境監査に関する規格 (ISO 14001, 14010 等) が発効されるとともに、我が国でも国家規格として JIS に取り込まれている。

ISO 14000 の一つの特徴は、単なる維持活動のみならず、常に環境改善の目標を決めて活動することが求められることである。

また、同規格も ISO 9000 の場合と同様に、第三者機関による審査の仕組みが、別に用意されており、この審査に適合した企業は登録され、公表される。

(農林水産省食品流通局 池戸重信)